

学校運営協議会 議事録 2



[3] 登校班内の“コミュニケーション不足”

委員 登校班の中で、このようなトラブルが見受けられる。

- ・家を出るのが遅れたり、学校を欠席したりする際に、同じ班内のメンバーに情報が流れないので、集合場所で全員そろうまでずっと待ち続ける。
- ・雨の日に車で登校するということを、他のメンバーに伝えずに一部の子どもたちだけで車に乗って登校してしまうために、残されたメンバーがずっと待ち続けたり、途方に暮れたりする。“コミュニケーション不足”のために、憂き目にあった班長や班の子どもたちが大変気の毒である。

学 校 早急に手を打たなければならない。

[4] 『新しい生活様式』とは？

委員 長期休業中、声を出してあいさつをしていないので、登校時のあいさつに元気がない。

学 校 「あいさつ」の件は、職員間でも数回話し合いをした。南小学校“伝統のあいさつ”を守っていこうと考えている職員も数名いる。文部科学省・栃木市から発出された「ガイドブック」には『大きな声を出さない』と明記されている。子どもたちも、出したくても出せない。このような状況になっても、今までの伝統を守り続けていくにはどうしたらいいか。例えば、校内では声を出さないで会釈をすることを指導している。良き伝統を守るためにはどうすべきかを、子どもたちと話し合っていきたい。

委員 小さくてもいいから、声を出す習慣を付けさせる指導を望む。



[5] 落ち着いた学習環境・学習態度

学 校 長期休業後の学校再開は、子どもたちの意識に大きな変化を生んだ。学校だより「大地の子 No.5」に掲載した子どもたちの思いや願いを読むと、友だちとの出会い、学級担任との出会い、学校生活の再開を如何に待ち望んでいたかがわかる。

学 校 昼休みに、校庭で遊んでいる子どもたちの姿からも、子どもたちの気持ちが、以前にも増して充実していることがわかる。友だちとの遊びを十分楽しんでいる姿、友だちとのトラブルが見られない人間関係から、落ち着いた状況の理由が垣間見られる。

学 校 この間の保護者や地域の協力も、子どもたちの落ち着いた学習態度に直結している。休業期間中に、分散登校や課題提供の方法、学校の対応全般に関して保護者や地域の皆さんに丁寧な説明をしてきた。

学 校 本校の開校以来、「運動と勉強の両立」は本校教育の根幹をなす。この状況では、課外活動や課外活動を介したあいさつの指導に制限が加わるが、形を変えて「運動と勉強の両立」の精神は、守り続けていこうと考える。

6・7月の欠席状況

月曜日から金曜日までの週間毎に区切って比較しました。

期 間	出席停止	それ以外の欠席	合 計	
	感染していないが体調不良等の場合	通院等出席停止ではない欠席(除忌引)		
6月1日～6月5日	22	19	41	6月の記録 (1日～30日)
6月8日～6月12日	34	16	50	感染症予防のための出席停止以外の欠席数合計が0人のクラス ★1年1組 ★1年2組 ★6年2組
6月15日～6月19日	14	12	26	
6月22日～6月26日	22	7	29	
6月29日～7月3日	31	14	45	感染症予防のための出席停止以外の欠席数合計が0人のクラス ★1年1組 感染症予防のための出席停止以外の欠席数合計が0人のクラス ★1年2組 ★かがやき学級
7月6日～7月10日	17	23	40	
7月13日～7月17日	22	11	33	



6・7月の貸出冊数

昨年の4月から、図書室から貸し出された一日あたりの平均冊数です。「読書好きの子どもになってもらおう」と、いろいろな作戦を実行しています。

	4月	5月	6月	7月	9月	11月	12月	1月	2月
令和元年度	59	81	81	84	91	74	71	92	100
令和2年度	—	—	150	131					

